

平成31年度 静岡大学人文社会科学部
夜間主コース社会人入試試験問題
[第1期]

経済学科 [小論文] SK

平成30年11月24日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子（この表紙を除く）・・・7枚
解答用紙・・・4枚
下書用紙・・・4枚

次の文章は、阿部彩著『子どもの貧困Ⅱ』（岩波新書，2014年）の一部である。この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

（著作権未許諾のため未公開）

(著作権未許諾のため未公開)

(著作権未許諾のため未公開)

(著作権未許諾のため未公開)

出典：阿部彩著『子どもの貧困Ⅱ』岩波新書，2014年，3～11頁。ただし，本文は縦書きを横書きにし，一部漢数字を算用数字に改めた。また，原文にあった小見出し，図表番号など一部を省略した。

- 注1 相対的貧困率とは、所得の中央値の半分（いわゆる「貧困線」）を下回る所得しか得ていない者の割合。
- 注2 子どもの相対的貧困率とは、18歳未満の子ども全体に対して、子どもが属する世帯の所得が、一定基準（「貧困線」）に満たない子どもの割合。
- 注3 リーマン・ショックとは、2008年9月にアメリカの大手投資銀行・証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻したのをきっかけに世界に連鎖した金融危機のこと。

(著作権未許諾のため未公開)

- 問 1 筆者は「子どもの貧困がごく一般的な世帯においても進行していることを表している（下線部①）としているが，その根拠について，図表 1 を参考にしながら，本文の内容
容
に即して 250 字以内で説明しなさい。（配点 25%）
- 問 2 筆者は「『子どもの貧困』は決して，リーマン・ショック以降の『新しい』社会問題ではない」（下線部②）としているが，その根拠について，図表 2 を参考にしながら，
本文の内容に即して 250 字以内で説明しなさい。（配点 25%）
- 問 3 下線部③の筆者の考えに対するあなたの意見を 500 字以内で述べなさい。（配点 50%）